

柱 II

経済のエンジン

プロジェクト

8

観光

～観光立県かながわの実現をめざして～

観光産業は裾野が広く、
本県の経済において重要な役割を
担うことが期待されており、
東京2020オリンピック・パラリンピック
競技大会開催決定や、
オリンピック・セーリング競技の会場が
県内に決定したことなどを契機に
観光客の一層の増加を図ることが
求められています。
そこで、新たな観光魅力づくりとともに、
観光プロモーションの強化や
年齢、障がいの有無、使用言語にかかわらず
誰でも快適に旅ができる環境づくりなどに
取り組み、国内外の観光客の
誘客促進による地域活性化を図り、
「観光立県かながわ」の
実現をめざします。



- ▶ 地域の観光魅力アップ
- ▶ 観光客増加による地域活性化



具体的な取組み

A 外国人観光客の誘客促進

- 海外メディアなどの招請や国際観光展への出展、海外での名産品の販売促進、アニメなどの舞台を切り口とした観光PRなどの海外プロモーションの強化に加え、海外の映画などのロケ誘致に取り組みます。
- ウェブサイトなどを活用し、各国のニーズを踏まえた効果的な観光情報の発信により、神奈川の魅力を積極的にPRします。
- おもてなし力向上のため、市町村や民間事業者などと連携し、観光を支える人材の育成を進めるとともに、多言語による観光情報提供や観光案内表示の充実、Wi-Fi環境の整備促進に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
外国人向け海外プロモーションの強化 実施主体 国、県、市町村、民間				
	メディアなどの招請、国際観光展出展や名産品販売促進、ロケ誘致など			
海外に向けた効果的な情報発信 実施主体 県、民間				
	ホームページ、SNS、民間のアプリなどを活用した情報発信			
快適な旅ができる環境づくり 実施主体 県、市町村、民間				
	人材育成、観光情報や案内表示の多言語化、Wi-Fi環境の整備促進			

B 国内観光客の誘客促進

- 国内観光客の増加を図るため、市町村や観光関連事業者などと連携し、観光キャンペーンや観光情報発信に取り組むとともに、アンテナショップや県内外の物産展で、かながわ産品の魅力をPRします。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
国内観光プロモーションの強化 実施主体 県、市町村、民間				
	観光キャンペーン実施やかながわ産品のPR			

C 新しい観光魅力づくり

- 横浜・鎌倉・箱根に次いで、海外にも強気に発信できる魅力的な国際的観光地を創出するため、城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域を新たな観光の核づくりの構想地域として認定し、その実現に向けて地域を盛り上げ、地元と一体となって、新たな観光地づくりを進めます。
- マリンスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、その魅力や海の楽しみ方をパッケージにして発信する「Feel SHONAN」キャンペーンを展開し、国内外から多くの観光客を呼び込みます。
- 観光魅力向上のため、神奈川ならではの地域資源を磨き上げ、魅力ある旅行商品の販売促進などに取り組むとともに、地域の特色ある名産品の発掘及び普及を図ります。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
新たな観光の核づくり 実施主体 県、市町、民間				
	構想の推進			
かながわシープロジェクトの推進 実施主体 県、市町、民間				
	海の魅力の発信、海の魅力づくりの推進			
観光資源の発掘と磨き上げ 実施主体 県、市町村、民間				
	地域資源を生かした旅行商品の販売促進、名産品の発掘・普及など			